自然観察 NOW

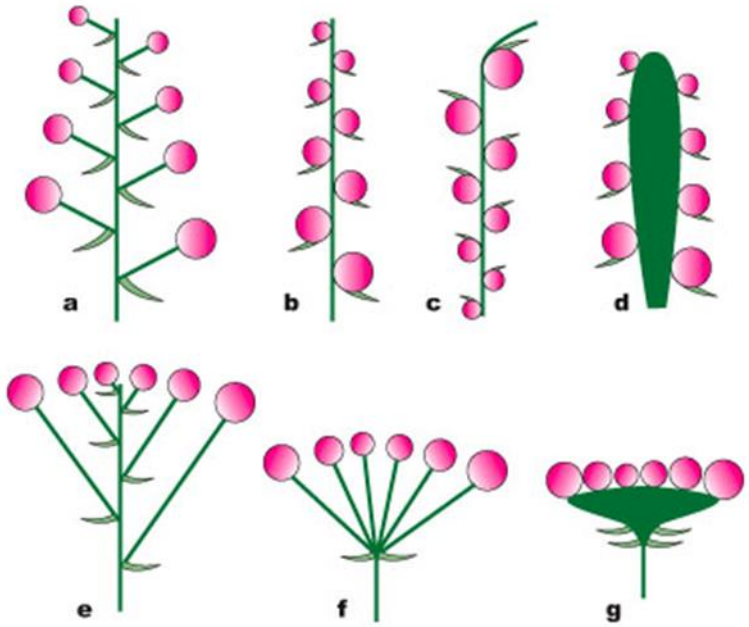
NO：６１号
野幌森林公園自然情報
発行：２０２２年３月２７日
北海道ボランティア・レンジャー協議会
ホームページ http://voluran.com/

尾状花序(びじょうかじょ)の観察

この時期、木々の枝先に垂れ下がる尾状の花を多く見かけます。風媒花が多く花粉症の原因となる物が多くあります。

【花序】とは

花は植物の種類によって、一定の花のつき方があります。この花のつき方を「花序（かじょ）」といいます。（下図は代表的な花序の形）



【尾状花序】びじょう-かじょとは穂状花序の一型。花軸に柄のない単性花が密について垂れ下がるもの。クリ・クルミ・ハンノキ・ヤナギの雄花などにみられ、花後は花序ごと脱落します。

左図のＣが尾状花序です。

これらの植物の多くでは、雄花のみが尾状花序を形成し、雌花は単一の花（ハシバミ属、オーク）、毬花（ハンノキ属）、その他のタイプ（クワ）等として咲き。それ以外の植物（ポプラ等）では、雄花も雌花も尾状花序になります。

尾状花序(びじょうかじょ、catkin または ament)は英名の catkin は、子猫の尾の形に似ていることからオランダ語で「子猫」という意味の katje という言葉に由来し、また別名の ament は、ラテン語で「ひも」を意味する amentum という言葉に由来します。

ハンノキ類(カバノキ科ハンノキ属)

ケヤマハンノキ 別名：ヤマハン（山榛）アイヌ語名：ケネ ke-ne（kem-ni：血の木から転訛）など。

ハンノキ 別名：ハン（榛），ヤチハンノキ（谷地榛の木），赤楊　アイヌ語名：ニタッケネ nitat-kene

カバノキ科カバノキ属

シラカンバ　別名：シラカバ，カバ　アイヌ語名：レタッタッニ retat-tat-ni（白い樺皮のとれる木）

ダケカンバ　別名：ダケカバ　アイヌ語名：カムイタッニ kamuy-tat-ni（神の樺皮がとれる木）

ウダイカンバ 別名：ウダイカバ，マカンバ，マカバ，サイハダカンバ，メジロカバ　アイヌ語名：シタッニ si-tat-ni（本当の樺皮がとれる木）

ヤナギ科

エゾノバッコヤナギ 別名：エゾノヤマネコヤナギ（蝦夷の山猫柳），コウライバッコヤナギ　アイヌ語名：チプ（ニ）ス chip-（ni-）susu（舟になる柳）

オノエヤナギ 別名：ナガバヤナギ（長葉柳），ヤブヤナギ（藪柳），カラフトヤナギ（樺太柳）　アイヌ語名：スス susu

＜文責：小林　英世＞

参考文献　道総研ホームページ、botnyweb 写真　無料素材